



棟梁集

四

4772
2





高田早苗
昭和二十二年
五月廿二日

格架之

子

子

子

子



107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd
 107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd
 107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd

林業第

山崎

107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd
 107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd

山崎

107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd
 107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd

山崎

107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd
 107 on 2nd of 2nd of 2nd
 the 2nd of 2nd of 2nd

NOTE

又とどろくしきりしゆれ

智恵也

さよふゆ花のわひきをあむかしの

いささくしほ 昔のむしるい

夕暮也

夕風きとぞげちのふちしに

しほのあれ物な

社説也

白書るあしうれあきんあるさき

はらたあまのあけの心地

立也

あめごみあぶきのきよきんまの

きういあふよふくかいた

子也

もろくしあまのあふあしあの花のゆれ

せきつたあしあひのかた

高也

いささくしほあまのあふあしあ

ひとれとらのねづらんぬい

梅

さちめいのさめく梅が枝こしあつ
きめさづまこころよあじせて

春駒

さぶころば月もの初あつめのいささあつめぬい
どわさるぢみさるのちならぬ

染子

あさめさくしんまごおはなぬい

ちらぬいぬいぬいぬいぬいぬい

梅

梅枝よさくさくさくさくさくさく
くろげんくさくさくさくさくさく

春駒

さくさくさくさくさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさくさくさく

春駒

あさめさくさくさくさくさくさく

二反あみはげをさへんくもがれ
 とびつらあひかき一たんがもくもくちうわ
 ちきよあつらひげもまきしそ
 雪あれは竹のぬがらもさくばあひそ
 うやがねだるふらさくうれ
 かせいから 隠て 柳木の雪割て
 新いの言れ日はたぐえけり
 光る木の一本二本はさくまきん
 かりはひに父よあまきつひして

月夜夜室

夜がものひかりにすしよきうして
 けみけりけりあひの月
 ちふふ
 昔あひひげよくあひま
 ちつていの夜よるにちてし
 河野ふまきよあひち調よ
 こし
 先きき ちきんこまよふあし

此世のそれなりか

あぢあぢ

雨さしきくさくさ

さくさくさくさ

迷情

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ
あぢあぢあぢあぢ
あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ
あぢあぢあぢあぢ
あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

あぢあぢあぢあぢ

讀みくららおのりもあさくらんしんて
るうあいのあはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれ

白地

あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ

あはれ

あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ

あはれ

あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれのあはれあはれあはれあはれ

石巻の海

石巻の海は昔も
今もよもやまに
浪をたてて

新編

くまのこゝろを
かきまわす
まことの心を

心

心をこめて
くまのこゝろを
かきまわす

石巻の海

石巻の海は昔も
今もよもやまに
浪をたてて

くまのこゝろを
かきまわす
まことの心を

石巻の海

石巻の海は昔も
今もよもやまに
浪をたてて

あつとるはふはふにちかしの
あつとるはふはふにちかしの

山の梅屋のついで

あつとるはふはふにちかしの

梅屋のついで

梅屋

あつとるはふはふにちかしの
あつとるはふはふにちかしの

梅屋

あつとるはふはふにちかしの
あつとるはふはふにちかしの

梅屋のついで

あつとるはふはふにちかしの
あつとるはふはふにちかしの

梅屋

白鳥

あつとるはふはふにちかしの
あつとるはふはふにちかしの

あつとるはふはふにちかしの
あつとるはふはふにちかしの

梅屋

もくしんりんをよめるんがのてい
しくおのちげな—

まらやを

あしつゝのまにまをいも
とめいこつなもせもふれ

山記

帯をせつ細き川にわくこして
水もむれなきこのかゆ

お—か(と)ふりゆ—

あつり
あつり

句のよまおまをゆつある色
うらな

ねのみるのま—これのちあを
ゆまのまももさうねん

糖菓の記をよめる

こ—のま。ちま。は。は。
こ—のま。ちま。は。は。

牛車

たぬふりぬまの地の局は

ゆーいふていふ

うらな

おはきいあらふのこゑ
おはきいあらふのこゑ

おはきい

うらな
うらな
うらな

子の友

おむこそむこゆきあめ山に

~~うらな~~
~~うらな~~
うらな
うらな
うらな

うらな

うらな

うらな

うらな

うらな

うらな

うらな

うらな

うらな

ちびりもる。おぼろのいんち

Shirogami

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

相模国最良井のいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

いんちのShirogamiをいんちの

二番 初まゝ

ソウソウソウソウのちねんせいせいの
山ちんねんねんねんねんねん

一 初陽を

くまのりし初陽を
うまのりし初陽を

常盤

はゆまのりし初陽を
らまのりし初陽を

初水

かろろのりし初水
いら沖のちちのりし

只水

あまのりし初水
あまのりし初水

あまのりし初水
あまのりし初水

あまのりし

おのゝとてさういふおのゝ

いふ

まゝいふとてさういふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

けいふおのゝ

けいふおのゝ

梅の花

けいふおのゝ

けいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あつたけいふおのゝ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

柳風 あまのこころ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
さけのたのしみ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

己の
世の
世の
世の
世の

おのれは木の葉

おのれは木の葉 清くはら

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉 中おのれは

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉 おのれは

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

おのれは木の葉

りまのまの
物まのまの
けいまのまの

物のまのまの
いまのまのまの
まのまのまの

初巻二函

とまのまの

書

物まのまのまのまのまのまの
りまのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの

梅毛は静

まのまの

まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの

まのまの

りまのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの

まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの

あつらひのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまの

書

夢をよそとせむはかなくとも
 めはかりてくはれりともかく
 けふもよそとせむはかなくとも
 ありしころのよそとせむはかなくとも
 とめたはせむはかなくとも
 しかりてあはれりともかく
 ぞしかりてあはれりともかく
 夢をよそとせむはかなくとも
 ありしころのよそとせむはかなくとも

三橋二日
 山崎

山崎のすゝめはかなくとも
 ありしころのよそとせむはかなくとも

三橋二日
 山崎

山崎のすゝめはかなくとも
 ありしころのよそとせむはかなくとも

三橋二日
 山崎

山崎のすゝめはかなくとも
 ありしころのよそとせむはかなくとも

山崎

春の一首

一本の梅は花を咲かすに
春の風を待つ人々の心

梅花其の久

梅の花は冬を越えて
春の訪れを告げる

春の一首

春の風は大地を
目覚めさせる

堀河院題百首和歌

春二十首

春の一首

春の風は大地を
目覚めさせる

子日

春の風は大地を
目覚めさせる

霞

東海の国々をめぐりては
こもれぬ山をみれば

るる

いふそののよみは
もろとていふ

善菜

まの暇に
あはれ

残雪

あはれいけ
わく

梅

あはれの梅
西

柳

あはれ
さ

早登

春白牡丹の香のきこゆに
かきこゆに
すしんじんの香のきこゆ

梅

かきこゆに
かきこゆに
かきこゆに
かきこゆに

牡丹

牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに

牡丹

二

牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに

牡丹

牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに

牡丹

牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに
牡丹の香のきこゆに

牡丹

三つの中紅の現紅の味紅あつて紅けて
 ちひさしの氏紅なりしん

莖菜

かしきあつし一帯のさうりあつと
 しみじあつとちやうもあつ

杜若

しのあつてはあつらふあつて
 ちよちよちよあつて

菘

菘のあつたりたるわあつと
 ちよちよちよあつて

二葉あつて

うらあつてあつとあつと
 ちよちよちよあつて

紅御衣

ちよちよちよあつとあつと
 ちよちよちよあつて

三葉あつて

聖あつて
 のちよちよ
 ちよちよ

あまのこゝろに身をまかせた
くさくさしたるはくさくさしたる

あまのこゝろ

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろ

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろ

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろ

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろに身をまかせた

あまのこゝろに身をまかせた

信文路行

目う 又いもぬもぬのうもぬも
るまきの物海ふ存か海らん

花下交好

おれ母さよびのてかへんぬらぬ
とさるうけもぬもぬ
うけんぬらぬもぬらぬ
ゆみぬぬらぬもぬらぬ

年内立まき

一ひき(おき)はらぬらぬらぬ
おきまきのあやもぬらぬ

花田物

海まきのぬらぬらぬ
花田のぬらぬらぬ

花田物

花田のぬらぬらぬ
ぬらぬらぬらぬ

あのみ木

あのみ木

あのみ木

むつろのまはりの世多きこと
心はなるまはりの木

蘇峰看花

みよのちとまのしんげい
山科のけりつるるん

春日遊

も受ぬる多明女目よ
あなもあまのまのうけ

字子あり新のしんげい

大いしんげい
あなもあまのまのうけ
まのうけ

あな

浮きあがりしんげい
とらもあまのまのうけ
あなもあまのまのうけ
ゆりあがりしんげい
海まのまのうけ
ゆりあがりしんげい
あなもあまのまのうけ

吉の御まひえ候す

ニまがむ祝

吾々のあひのあひのたむこあは
清くけりてあはれあはれ
そこのあひのあひのあひのあひの
あひのあひのあひのあひのあひの

梅のまゝにしては梅のまゝ

ちりちりちりちりちりちり

あひのあひのあひのあひのあひの

あひのあひのあひのあひのあひの
あひのあひのあひのあひのあひの
あひのあひのあひのあひのあひの

あひ

あひのあひのあひのあひのあひの
あひのあひのあひのあひのあひの
あひのあひのあひのあひのあひの
あひのあひのあひのあひのあひの

あひ

此の二木の
大木は
うねりある
大木は
うねりある
うねりある

平野に
二つ
三つ
四つ
五つ
六つ
七つ
八つ
九つ
十つ

ちやを

一本
二本
三本
四本
五本
六本
七本
八本
九本
十本

一本

一本
二本
三本
四本
五本
六本
七本
八本
九本
十本

一本
二本
三本
四本
五本
六本
七本
八本
九本
十本

一本
二本
三本
四本
五本
六本
七本
八本
九本
十本

一本

一本
二本
三本
四本
五本
六本
七本
八本
九本
十本

一本

一本
二本
三本
四本
五本
六本
七本
八本
九本
十本

一本

閑亭十景

高嶺晴雲

國をえあつてくわつとあまのうらや
尺とれそこのあまのなま

叡岳晚鐘

鐘のまゝまこよあまのなま
なれと野のせれま

葛飾梅花

花のまゝまこよあまのなま

わらわら
あまの
なま

しらあまのあまの物

宮戸川梅火

あまのあまのあまの
あまのあまのあまの

牛渚落鴈

あまのあまのあまの
あまのあまのあまの

西国納涼

あまのあまのあまの
あまのあまのあまの

世の心もいふはなれぬ

成草夕嵐

海子のあはれもつとよとよ
心もいふはなれぬ

黒水櫻花

あはれもいふはなれぬ
あはれもいふはなれぬ

柳塘春色

あはれもいふはなれぬ

あはれもいふはなれぬ

筑波山を歩む

あはれもいふはなれぬ
あはれもいふはなれぬ

二月おたふ

あはれもいふはなれぬ
あはれもいふはなれぬ

春のふゆ

あはれもいふはなれぬ
あはれもいふはなれぬ

おのれは *de uwe*

おのれ

おのれ *de uwe*

~~おのれ~~ *de uwe*

おのれ

おのれ *de uwe*

おのれ *de uwe*

おのれ *de uwe*

おのれ *de uwe*

おのれ

おのれ *de uwe*

おのれ *de uwe*

おのれ

おのれ *de uwe*

おのれ *de uwe*

おのれ *de uwe*

おのれ *de uwe*

おのれ

おのれ *de uwe*

くわいひのいふかゝる

きしきみづも木井の吾孫いふいふ
みり方のひきまはひらの海のみ
ととて海つる程のちかふといふ
くげきおのめのゆあふいふ
みみおあまこころもあふひら
のらつともあふきりつとあふあのみ
國中の大井の川の川のはのち
あふあふいふあふあふあふあふ

くわいひのいふかゝる
新河の海みけらつとあふあのみ
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
がらのさびゆめあふあふあふあ
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら
ぬいしゆらぬいしゆらぬいしゆら

かゆりりやどちけりてくちあひ
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき

あひさし

○

あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき

あひさし

あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき

あひさし

あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき

あひさし

あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき
あひさしきもくちあひさしき

あひさし

Handwritten notes in the top right corner, including a boxed section with several lines of text.

Handwritten text in the top right section of the page, written vertically.

Handwritten text in the middle right section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

海(ま)にまなこ

あつちのいへにけしきいふはなを
うらなひてかきかへ

首(ま)にまなこ

とあつちのいへにけしきいふはなを
あつちのいへにけしきいふはなを

首

あつちのいへにけしきいふはなを
あつちのいへにけしきいふはなを

あつちのいへにけしきいふはなを
あつちのいへにけしきいふはなを

首(ま)にまなこ

あつちのいへにけしきいふはなを
あつちのいへにけしきいふはなを

首(ま)にまなこ

あつちのいへにけしきいふはなを
あつちのいへにけしきいふはなを

首(ま)にまなこ

てそんかてあひく 指あそころ

こころあひくさのまはひひ

すぞうくさのまはひ あひくあひく

さうまうまはひ あひくあひく

あひくさのまはひ あひくあひく

さうまうまはひ あひくあひく

あひくさのまはひ あひくあひく

さうまうまはひ あひくあひく

あひくさのまはひ あひくあひく

あひくさのまはひ あひくあひく
あひくさのまはひ あひくあひく
あひくさのまはひ あひくあひく
あひくさのまはひ あひくあひく

あひく

あひくさのまはひ あひくあひく
あひくさのまはひ あひくあひく
あひくさのまはひ あひくあひく
あひくさのまはひ あひくあひく

Handwritten text in cursive script, likely a title or introductory line.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Red circle mark.

Handwritten text in cursive script, starting with a red circle.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Red mark or symbol at the top of the page.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

あ

○ さいふ又 孫を 娘に ぶなむらひ

よきと 女いふよき ~~いふよき~~ 女

あ

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと

あ

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

あ

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

いふよきと 女いふよきと 女いふよきと

あ

ちいぬち
ちいぬち
ちいぬち
ちいぬち
ちいぬち
ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

ちいぬち

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, written vertically within a rectangular border on the right page of an open book. The text is written on aged, yellowed paper with horizontal ruling lines. The characters are dark and appear to be ink.

Small handwritten text or mark located at the bottom right corner of the page, possibly a page number or a small note.



